

## 重点分野に関する取組の中長期目標について

### 1. 重点分野に関する取組の中長期目標の設定について

- 高齢化の進展や地域医療構想による病床の機能分化・連携により、在宅医療の需要が増加すると見込まれている 2025 年に向けて、重点分野に関する取組を進めていくにあたり、各団体が連携し、計画的に重点分野に取り組む必要がある。
- そのために、各団体で共通の中長期目標(2020 年、2025 年目途)を設定すること、また、共通の中期目標を達成するために、各団体で、短期(各年度ごと)の取組を掲げ、いつまでに、何を取り組むか等を具体化し、とりまとめることとした。
- 第3回全国在宅医療会において、各団体で共通の中長期目標については、本ワーキンググループにおいて、具体的に議論することとなった。

### 2. 論点

- 重点分野に関する取組の中長期目標を設定するにあたり、重点分野を推進するにあたり対応すべき課題を整理し、それに対してどのような目標を設定し取り組んでいく必要があるか、以下の留意すべき点を踏まえて、議論してはどうか。

#### 【重点分野を推進するにあたり対応すべき課題例】

##### 1-(1)「在宅医療に関する医療連携モデルの構築」

- ・在宅医療の資源が乏しい地域や、今後、高齢者人口が増加する都市部での提供体制整備 等

##### 1-(2)「在宅医療に関する普及啓発モデルの構築」

- ・国民の在宅医療についての理解度の差、在宅医療に対する不安
- ・市区町村や都道府県が行う普及啓発は、どのようなものが必要なのか整理されていない
- ・入院を担う医療機関が、在宅医療について十分に理解できていない 等

##### 2「在宅医療に関するエビデンスの構築」

- ・在宅医療のエビデンスについて、必要なエビデンスが何か整理されていない
- ・在宅医療を推進するにあたり、有用な情報が整理されていない 等

#### 【中長期目標を設定するにあたり留意すべき点】

- ・在宅医療の対象者(高齢者、小児等)
- ・各団体同士で連携して取り組むこと

(目標設定のイメージ)

重点分野に関する共通の中長期目標

